

## 東近江市環境円卓会議の取組

市民環境部生活環境課

## 〈2018年度（平成30年度）の取組〉

## ■東近江市環境円卓会議（フォーラム）の開催

- 開催日 平成30年12月19日（水）19時～
- 開催場所 永源寺コミュニティセンター もみじホール
- 参加者 52名（市民、行政、NPO等）
- テーマ みんなで語り合う東近江市の森 「いま」と「これから」  
～100年後の東近江市の森づくりを考える～



(↑会場の様子)

## 提案者 水田 有夏志 氏（「鈴鹿の森おこし」推進ワーキンググループ）

## ～みんなで語り合う東近江の森。「いま」と「これから」～

東近江市の面積の56%を占める森林は、本市の地域資源として重要であるとともに、鈴鹿山脈をはじめとする市域の東部に広がる森林は「鈴鹿国定公園」に指定され、イヌワシやクマタカが生息する豊かな自然があり、木地師発祥の地として古くから森林文化を育んできました。

また、鈴鹿山脈や里山の多くは、人と関わりながら育まれてきました。しかし、ライフスタイルの変化に伴い、森林を取りまく環境は大きく変化してきています。

そこで今回、地域の森林に関わる様々な分野の人に集ってもらい、東近江市の森林の現状と今後の可能性を考える東近江市環境円卓会議を開催します。円卓会議では、森林所有者、東近江市永源寺森林組合、びわ湖の森の生き物研究会などの関係者がそれぞれの立場で語り合い、森の現状と可能性を関係者や参加者の皆さんと共有し、今後の森づくりの視点を探ります。

## 出演者



水田 有夏志  
鈴鹿の森おこし  
推進ワーキング  
グループ



川嶋 富夫  
森林所有者  
（箕川町）



落部 弘紀  
東近江市  
永源寺森林  
組合



山崎 亨  
びわ湖の  
森の生き物  
研究会



池田 則之  
愛知川上流  
漁業協同  
組合



丸橋 裕一  
河辺いきもの  
森



今井 康太郎  
鈴鹿10座  
エコツアー  
ガイドクラブ

- セッションⅠ 森の「いま」を知る
- 意見交換
- セッションⅡ 「これから」森づくりを検討する際の視点

## ■地域担当職員研修会での普及啓発

- 開催日 平成30年11月20日（火）18時～
- 参加者 地域担当職員55名
- 講演 「いま環境問題は、社会の変革を求めている」  
東近江市環境円卓会議委員長  
滋賀県琵琶湖環境科学研究センター センター長 内藤 正明氏
- ワークショップ：地域課題と課題解決のヒントとなる取組を考えよう
  - ・地区の課題を考えよう
  - ・課題解決のヒントとなる取組を冊子から探そう
- まとめとこれから  
東近江市環境円卓会議運営委員、東近江市環境審議会委員  
菜の花プロジェクトネットワーク 代表 藤井 絢子氏



## ■環境啓発冊子「e(え)～らいふ」啓発ポスター作成

- ポスター 【発行部数】100部
- アイコン作成

ひがしおうみ  
e～らいふ



## 〈2019年度（令和元年度）の取組〉

### ■普及啓発への取組

- 環境啓発冊子「e(え)～らいふ」の登録団体の追加と市ホームページの更新
- 三方よし基金と連携し、環境活動と資金支援により、地域課題の解決と取組推進を支援する環境を構築するため、具体的な活動などについて、運営委員会にて協議し、普及活動へ繋げる予定であります。
- 来年度の環境円卓会議のテーマ提案、開催地調整など